

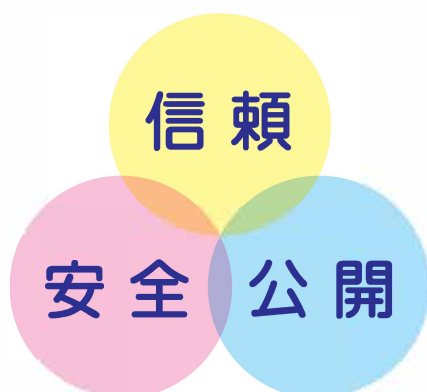


かながわ環境整備センター

〈産業廃棄物最終処分場〉



安全性のモデルとなる最終処分場



神奈川県では、循環型社会の実現に向けて、「廃棄物ゼロ社会」を基本理念として、県民、事業者、市町村と連携・協力しながら廃棄物の発生抑制、資源化、適正処理の推進を図っています。

かながわ環境整備センターは、ひっ迫している産業廃棄物最終処分場の確保を推進するため、県立県営の産業廃棄物最終処分場として設置されたものであり、安全性のモデルとして、民間施設の設置を促進するとともに、産業廃棄物の適正処理を図っています。本センターは、高度な処理技術と設備構造を備えた施設として、県民・事業者から信頼される安全で開かれた施設をめざしています。

施設の概要等

●施設の概要

名称……………かながわ環境整備センター
所在地……………〒240-0104
横須賀市芦名3-1990
開設時期……………平成18年6月
敷地面積……………約15ha
埋立区域面積……………約5ha
全体埋立容積……………約75万m³
廃棄物埋立容積……………約54万m³
跡地利用……………緑化復元・都市計画道路
坂本芦名線の建設

●産業廃棄物とは

製造業・建設業・オフィス・商店等の事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃え殻・汚泥・ばいじん・がれき類など廃棄物処理法で定められた20種類のものをいいます。

排出事業者は、その廃棄物を自ら処理するか、産業廃棄物処理業の許可を有する処理業者等に委託して処理する責任があります。

●受入廃棄物

次の廃棄物を受け入れています。（特別管理産業廃棄物等の有害廃棄物は受け入れません）

燃え殻	汚泥	ガラスくず コンクリートくず及び 陶磁器くず	石綿含有産業廃棄物
鉱さい	ばいじん	がれき類	廃石こうボード



安全性の確保

●搬入廃棄物の徹底した審査

本センターで定めた受入基準を満たしていることを確認するため、搬入事前審査と搬入審査を行っています。

搬入事前審査

書類審査
サンプル分析
現地調査

受入基準を満たした廃棄物について
契約します。

搬入審査



目視による確認

まず、搬入車両に積載された廃棄物が事前に承認されたものか、安全に梱包されているかなど目視による確認を行っています。



サンプリング及び迅速溶出分析

廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、ばいじん、鉍さいについてはサンプリングして迅速溶出分析を行い、重金属類のカドミウム、鉛、クロム、ヒ素、セレンについて、基準を超えた溶出がないことを確認しています。基準を超えた場合は受け入れていません。



迅速分析中



展開検査

廃棄物に異物等の混入がないか展開検査を実施しています。

●安全な埋立

埋立は、粉じんを飛散させないように、適時散水しながら、廃棄物と覆土を交互に重ねる方式により行っています。

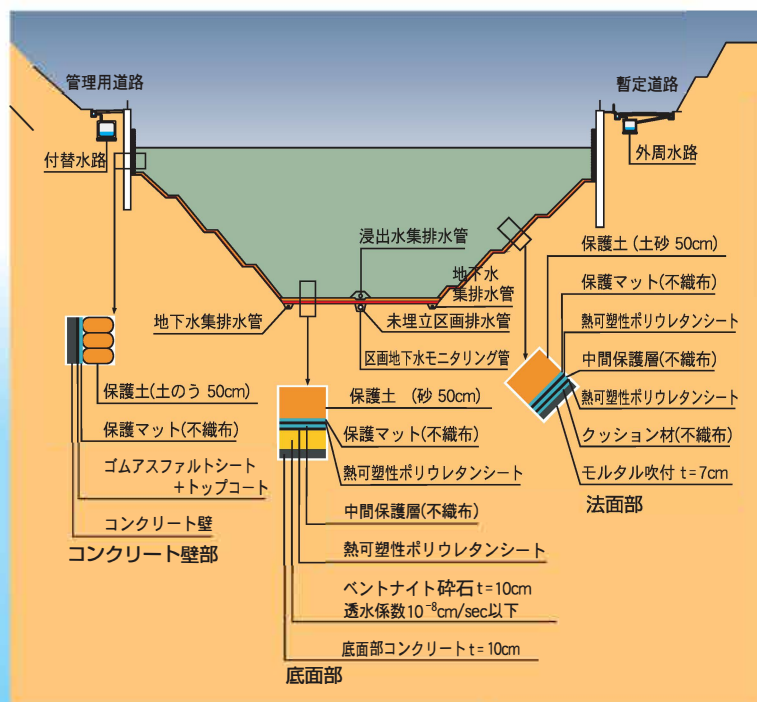
また、風速計を設置して強風時には作業を中断・中止する等安全の確保に努めています。



埋立区域

●確実なしゃ水

埋立区域からの浸出水が埋立区域外に漏れないように設置するしゃ水施設は国の基準を超える安心構造です。万一に備えて監視システムを設置しています。



しゃ水施設の構造

底面部は二重のしゃ水シート構造および厚さ10cmのベントナイト砕石の下部に厚さ10cmのコンクリートを敷設しています。

※ベントナイト砕石とは、水分を含むと膨張し、高いしゃ水性を示す特殊な粘土（ベントナイト）で、長期間にわたりいかなる環境下でも安定した難透水性があります。

電氣的漏水検知システム

しゃ水シートの破損をチェックします。

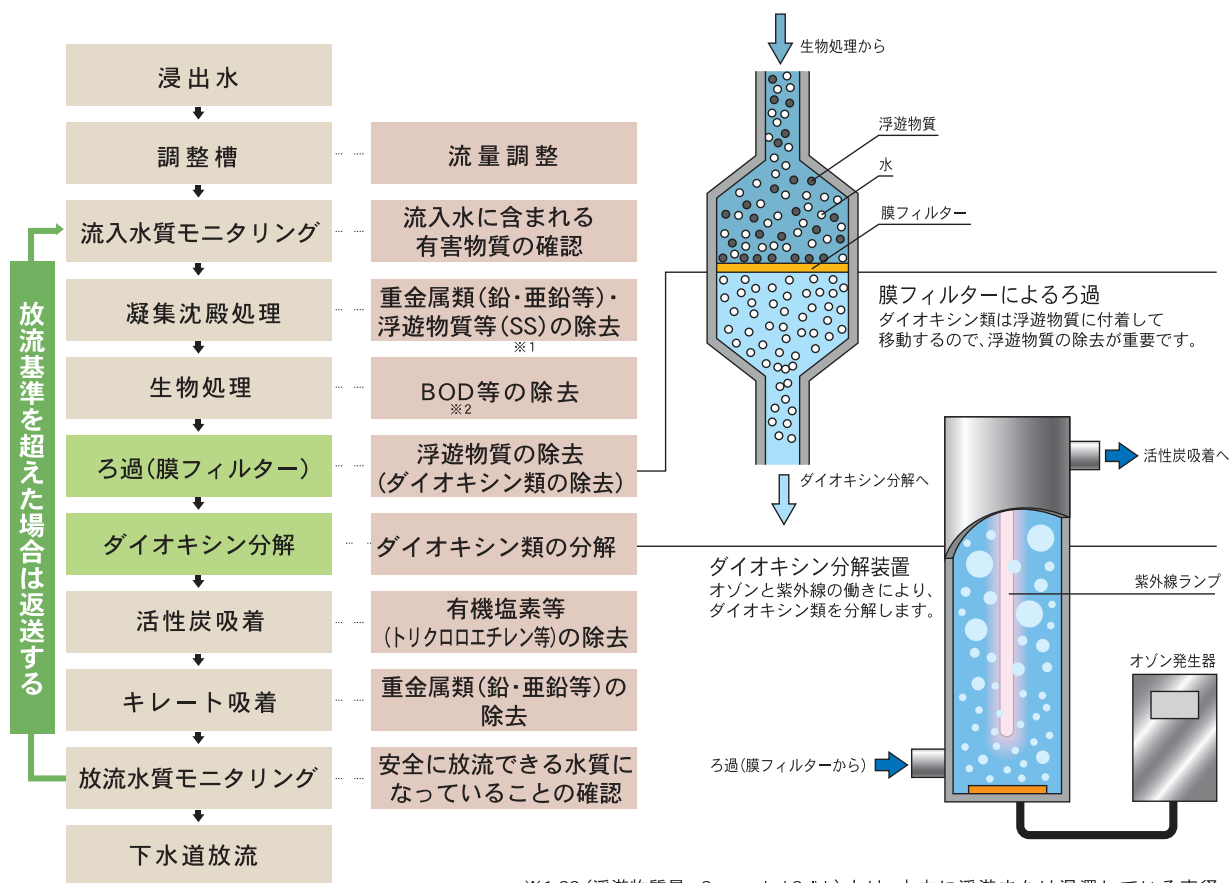
地下水モニタリング

地下水質を、地下水集排水管と観測井戸で、定期的にチェックします。



● 浸出水の適正な処理

ダイオキシン類等の除去も行える処理工程により、浸出水の処理を行っています。処理後は、基準を満たしていることを確認した上で、公共下水道に放流しています。



※1 SS (浮遊物質質量 ; Suspended Solids) とは、水中に浮遊または混濁している直径2mm以下の粒子状物質の量のこと。

※2 BOD (生物化学的酸素要求量 ; Biochemical Oxygen Demand) とは、水に含まれる有機物量を表す指標のこと。数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きい。



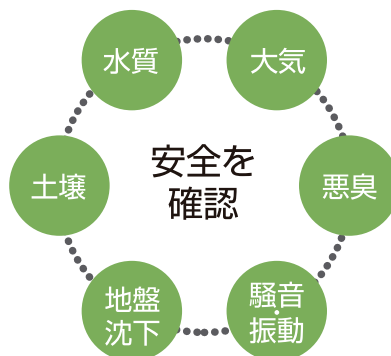
環境の保全

●環境モニタリング

法令に定められている以上に、大気・水質等の各種モニタリング等を実施するとともに、希少動植物の保全に努めています。

〈主な調査項目〉

- 降下ばいじん
- 大気中のダイオキシン類調査
- 観測井戸の水質調査
- 河川等におけるダイオキシン類調査
- 埋立地内の発生ガス調査
- 埋立地内・処分場周辺の臭気調査



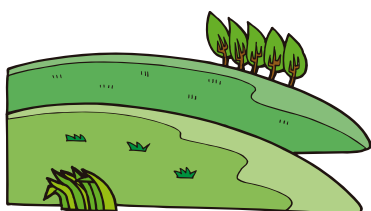
近隣河川からの採水



降下ばいじんの調査

●希少動植物の保全

処分場建設以前から生息しているトウキョウサンショウウオなどの希少動物の採取・飼育・放生やイヌツルウメモドキなどの希少植物の移植等の実施によりその保全に努めています。



イヌツルウメモドキ



情報の公開

廃棄物の搬入状況や浸出水の分析結果、各種の環境モニタリングの結果等、最新の情報をコーナーで公開するとともにホームページでも公開しています。

情報コーナー



かながわ環境整備センター 検索



視察・見学等



地元の小中学生や県内外の企業、議会、行政、各種団体・グループ等多くの方々が見学に訪れています。

講習会



廃棄物の排出から、搬入、埋め立てまでを安全かつスムーズに行えるよう、排出事業者さんや収集運搬の運転手さんを対象に講習会を行っています。

跡地利用

本処分場の埋立後は、都市計画道路坂本芦名線の建設及び周辺敷地の緑化復元を予定しています。



埋立中イメージ図



跡地利用イメージ図

案内図 ●横浜横須賀道路 横須賀インターチェンジより5km 10分



神奈川県

環境農政局環境部資源循環推進課横須賀駐在事務所<かながわ環境整備センター>
横須賀市芦名3-1990 〒240-0104 TEL 046-856-6810 FAX 046-856-6817
ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/p3k/cnt/f80175/index.html>